

和歌山病院での実習を終えて



中川 篤志

今回、第三内科のポリクリで和歌山病院にて2日間実習させていただきました。実習はセミナーを中心として様々なことを教えていただきました。

結核に関するセミナーでは結核の感染様式に対する理解が深まりました。結核は空気感染すると暗記していただけていたのですが、空気感染と飛沫感染がどのように違うか、どこに飛沫核が着床するかなど原理の部分から教えていただき、曖昧な知識について理解し整理できた有意義なセミナーでした。院長の南方先生のセミナーでは胸部 X 線の読み方について詳しく教えていただきました。いままでの授業などでは主に疾患があるときに胸部 X 線上でどのような異常がでるかということを知ってききましたが、南方先生には正常の X 線の見え方と、なぜそのような線や輪郭ができるのか、白く映るところと黒く映るところはどういうところかといったことなどを説明していただきました。単に画像に写っているものを教えていただくというだけでなく、質問形式で、考えながら画像を見ることで自分がいかに理解せずに見ていたのかということがわかりました。普段大学では暗記を中心とした勉強をしてしまいがちで、何故そうなるのかということ自分なりに考えることは少なかったもので、この講義は記憶に残りやすく、また楽しいものでした。セミナー以外でも、N95 マスクを装着し、結核の病棟に行ってどのようなつくりになっているか説明していただいたり、夜は鳥好で南方先生にご飯を御馳走していただきました。

最後にお忙しい中、実習の機会を設けていただき、感謝申し上げます。南方先生や駿田副院長をはじめとした指導していただいた方、車で御坊駅まで送り迎えをしてくださった職員さんなど関わってくださったすべての方、本当にありがとうございました。